

## 人生は山あり谷あり！

2020年8月9日の4:50頃、脳内に下記の言葉が降りてきました。私の場合、その日の予定が無く、リラックスして眠っているときに、脳波がシータ波になり、そのタイミングでよくメッセージを受信します。この時もそうでした。

**人生は、谷（凹）の状態から如何に這い出し、実りあるもの（凸）にしていくのかが問われる。**

**新型コロナウイルスの感染拡大は人災かもしれないが、そのような時代に生まれることを選択したのは、他ならない自分自身（の魂）である。**

**時代や環境を呪い、不平不満を撒き散らすのか、それともこの世に生を受けたことに感謝し、与えられた環境を受け入れ、そこから新たな道を見つけるのか。それを選ぶのは自分である。**

**困難が大きければ大きいほど、自分自身が成長する。**

**新型コロナ禍の現在の状況は、自己の生き方を見直し、成長していくための環境としては、もしかしたら最適なのかもしれない。**

**どう生きるかを決めるのは自分である。自己の魂の成長を促し、一挙に上り詰めな**

この数ヶ月、これほどじっくりと世の中のこと、自分のこと、家族のこと、会社のことを考えることはかつてなく、非常に貴重な時間となりました。

上記のメッセージを受け止め、価値観の転換期が到来したと解釈しました。

一般的に、価値観の転換のタイミングとはどのようなときに起きるのか。かつてはそれが、得難い人物との出会いであったり、または、大きな事故や天災であったり、紛争や戦争がきっかけだったのではないかと考えます。

そこで人は山（凸）と谷（凹）を経験し、既存の価値観を転換せざるを得ず、一度得たものを、そこで何とか手放すことが出来たのではないのでしょうか。

そして、特に谷（凹）を経験することで、過去を振り返り、未来を見つめ直し、今を生きることを選択するのではないのでしょうか。

私は、今回のメッセージを今後活かすべく、様々な形で発信し続けると同時に、日々奮闘してまいりたいという思いに至りました。



さらにその日の夜 21:00 から TBS「日曜劇場 半沢直樹（第4話）」を妻と二人で視聴して  
おりました際、早朝のメッセージと同じくらい衝撃的な言葉をいただきました。

**<自己の信念を部下から問われた際の言葉>**

- ① 正しいことを正しいと言えること
- ② 世間の常識と会社の常識が一致していること
- ③ ひたむきで誠実に働いたものがきちんと報われること

**<栄転の際、部下に送った言葉>**

- 自分のために仕事をするのではなく、お客様のために仕事をする、ひいては世の中のために仕事をする。  
この大原則を忘れた時に、人は自分のためだけに仕事をするようになる。
- どんな会社においても、どんな仕事をしていても、自分の仕事にプライドを持って日々奮闘し、達成感を得ている人のことを「勝ち組」という。

私は、2008年に所属していた保険会社を辞め、コンサルティングの世界に身を置いて12年目を迎えました。

私の考え方が、半沢直樹が部下に語ったものとぴったりと一致（上記①～③）しており、それを実践するために独立しました。そういう意味で、この日の朝と夜に得たメッセージは、正にシンクロシティ（＝意味のある偶然の一致）でした。

そしてそのことを、皆様に発信することができる環境にあることも、有難いことだと感謝しております。